

## 薬局

---

薬局では、入院される患者様すべてに持参薬の識別を行っています。入院前の情報と実際の薬剤を照合し、採用していない薬剤の代替薬の提案を行っています。

代替薬はジェネリック薬品に変更することが増えてきました。最近のジェネリック薬品は、患者様により使いやすくするための様々な工夫を凝らしています。

- 先発品では通常の錠剤しかなかった薬剤に「フィルム剤」や「口腔内崩壊剤」といった今までの錠剤と異なる形状にすることで、水なし、または少量の水で服用することができます。
- 「口腔内崩壊剤」は、製剤の性質上、簡単に砕くことができるため、以前に比べ散剤や水剤として使用することが、簡単になっています。
- 先発薬剤にはない規格(分量)[半分の量や、2錠もしくは3錠分を1錠]の薬剤は、半錠にすることによる品質低下や用量のばらつきの解消、複数の錠剤が1錠で済むため1回の服用錠数を少なくすることができます。
- 液剤は1回使用量の包装製剤にすることで、使用の際に計り取る必要がなく、正しい量で使用することができます。

以上の様に製剤に工夫を凝らしたジェネリック薬品は、利便性をより高めることができることから、ジェネリック薬品の採用を推進しています。

